

Voilà! C'est la vie!

ボワラ
カメルーンからこんにちは
2022年12月 N°11 (onze)
ビ
JICA 海外協力隊 2021 年度3次隊 小島由紀子

11月から12月にかけてサッカーのワールドカップが行われました。日本でも、寝ずに応援をした人がたくさんいたと聞きました。カメルーンでも、サッカーのワールドカップは大盛り上がりでした。

それもそのはず。カメルーンはワールドカップでベスト8まで行ったこともあり、地域のサッカーチームもたくさんあるほど、国民の多くが観たりプレイしたりするのが大好きなスポーツです。ものが限られているカメルーンでは、広い土地とボール1個があれば、大人数でできるスポーツ…ということも、サッカーが人気な理由の一つかもしれません。

世界ランク 43位 カメルーンのサッカーワールドカップ

私が仕事をする事務所には、テレビがありませんでしたが、ワールドカップ1日目に、なんとテレビを設置！おかげで、私は日本対ドイツの試合を一緒に働いている人たちと観ることができました。私の街バフィアでは、ワールドカップのためにテレビを準備するお店がたくさんありました。



日本の試合のときは「君は日本人か？日本が試合しているぞ！」「日本おめでとう」などと声を掛けてくれる人もたくさんいました。



テレビがあるお店には、毎日、人がいっぱい！みんな、ビールを飲みながら、試合を楽しみます。



カメルーンがゴールを決めると、なぜか授業中の教室からは大歓声！みんな授業をせずに、先生のラジオや携帯電話の情報を待っていたようでした。

そんな、私の街バフィアの様子は、こちらの動画でどうぞ★

<https://youtu.be/sCgJpkCgXMU>



私の街バフィアでは、公園にテレビと椅子を並べて、だれでも試合を見ることができるようになっています。昼間でも仕事の途中に見にきている人がいっぱいいました。



今回の大会ではゴールを決めたのが嬉しくて、ユニフォームを脱いだり、控えの選手たちが喜びすぎたりして、カメルーン代表はイエローカードをもらいました。カメルーンの人たちは本当に感情表現が豊か。カメルーンらしくていいな♪と思う出来事でした。





カメルーンでみーっけ!



この写真をじっくり見て考えてみよう!

これは、教室によく落ちていた「落とし物」です。何でしょう?



日本の学校の教室の『落とし物』というと、えんぴつや消しゴムなどの学習道具が多いですね。カメルーンの学校の教室では、えんぴつや消しゴムはあまり見かけませんが、この「つけ髪」をとるとき拾います。

カメルーンの多くの方は、1年中暑い気候のため、伸ばさずに髪の毛を短く切っています。でも、長い髪やおしゃれな髪型を楽しみたい人たちは、「つけ髪」を髪の毛と一緒に編んで、さまざまな髪型を楽しみます。

つけ髪をつけるのは、女の方が多いです。好きな色のつけ髪を買って、家族や床屋さんに自分の髪の毛と一緒に編み込んでもらうそうです。

幼稚園の子どもたちの中にも、おうちで家族に編み込んでもらう子がたくさんいます。遊んだり、髪の毛を触ったりしていると、それがときどき取れてしまい、「落とし物」となってしまうようです。わたしが拾うと、子どもたちが「これは〇〇ちゃんのものだよ!」と言いました。誰のかわかってもちゃんと分かるのですね!



日本人の多くの人とくらべて、からめやすい髪質の方が多いため、わたしの髪の毛ではできない、おしゃれな髪型をしている子がたくさんいます!ヘアゴムを使っている子もいれば、ぬい糸できれいにしばっている子もいます。カラフルなビーズを編み込んでいる子もいます。友達やテレビに出ている人の髪型がおしゃれだと、真似をしたくなりますよね。カメルーンの子もたちも、流行りの髪型があるのか、同じような髪型の子がたくさんいます。かわいい髪型をして楽しみたい

気持ちちは、カメルーンも日本も同じですね。



このようなたくさんの種類のつけ髪は、街のお店で買うことができます!